



## #京都市政を可視化する



←質疑文字起こしはこちら



## 住民生活第一の京都市へ オーバーツーリズム対策を

際限なく宿泊施設を呼び込み、「オーバーツーリズム」「観光公害」と言われる問題を作り出してきた京都市。それは観光地の大混雑だけでなく、地価高騰、家賃や固定資産税の上昇にもつながり、「若い人が家を買えない」「商売が続けられない」「住み慣れたアパートを追い出された」など、“住み続けられないまち”を作り出しています。今こそ根本的な政策転換が必要です。

## 北陸新幹線延伸計画は中止を 市民のための公共交通を



いま私たちに必要なのは「新幹線のための巨大地下トンネル」でしょうか？時代遅れの大型公共事業はきっぱり中止し、サンダーバードを金沢方面へ延伸してこそ、利便性向上につながります。

市バス・地下鉄の値上げを許さず、市バス路線充実や交通不便地域でのデマンドタクシー導入、通学費無償化など、生活交通の充実へ引き続き取り組みます。

## 今こそ「民泊」の規制強化を



伏見稲荷周辺など観光地近くで再び民泊乱立や道路渋滞など深刻な事態が起こっています。市議会で「住宅密集地での宿泊施設は規制を」と追及。ついに京都市も「民泊規制の強化を検討」と答弁しました。

共産党市議団として「民泊対応ハンドブック」第3弾も作成。宿泊施設のトラブル時にぜひご活用下さい。

## 住民アンケートへ寄せられた声をもとに、京都市へ要望書を提出しました



「伏見稲荷周辺のオーバーツーリズム対策を」「大型観光バスの路上駐車対策を」「伏工跡地へ学童・児童館設置を」「バス待ち環境の改善を」「近鉄桃山御陵の駅前高架下に横断歩道を」「危険な通学路の改善を」「中学校給食は自校方式で」「補聴器購入費補助を」…住民アンケートや議会報告会で寄せられた声を、深草支所や伏見土木みどり事務所など、京都市の関係部局へ届けています。住みやすい伏見のまちをつくるために、今後も粘り強く取り組みます。

# 物価高騰から

大軍拡をやめ、消費税減税を

# 市民の暮らし、営業を守れ!

## 国の物価高騰対応交付金

## デジタルポイントをやめ、全市民対象の給付を

国の補正予算で示された物価高騰対策。全国でも、府内でも、全住民を対象にした水道料金減免や現金・商品券給付などを行っています。

ところが、松井市長は「マイナンバーカードとスマートフォン」を使ったデジタルポイント（1人5000円）を給付する方針です。これでは、すべての市民に行き渡らないと怒りの声があがっています。



全文はこちら

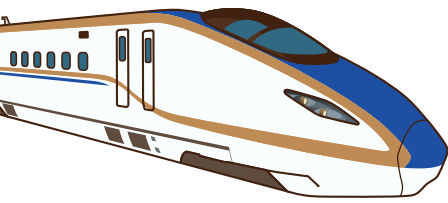
日本共産党議員団は、12月9日、暮らしを支える緊急対策を申し入れました。

### いま、京都の世界遺産が危ない!

## 世界遺産 保護条例

## 提 を案

現在進行している大規模な都市計画の見直しで、世界遺産に及ぼす影響は極めて大きく、日本共産党京都市会議員団は、11月市会に「世界遺産保護条例（案）」を提出しました。他党派の反対で、条例制定には至りませんでした。京都市が「古都京都の文化財を守るために」と題した新しいリーフレットを発行、議会での積極議論で世界遺産保護にインパクトを与えました。



## 北陸新幹線延伸計画は きっぱり中止を!

26年度も  
着工断念

北陸新幹線地下延伸計画のルート案について、京都市は、5つの懸念を表明していますが、払拭されるどころかますます深まるばかりです。仏教会や多くの住民団体からも反対の声があがっています。

### 5つの懸念

- ▶ 地下水への影響
- ▶ 建設発生土への対応
- ▶ 工事車両による交通渋滞
- ▶ 京都市財政への影響
- ▶ 文化歴史的建造物等への影響

### そもそも着工条件なし

着工条件は、「費用対効果1以上」

小浜・京都 ルート	桂川ルート	0.522
	南北ルート	0.551

(石川県選出の自民党国会議員による自主研究会)

世論と運動の高まりの中で、2026年度着工は4年連続断念に追い込みました。

与党プロジェクトチームに維新が加わりましたが、あらためて8ルートで検討し直す方針など、混迷を深めています。

北陸新幹線延伸は中止し、サンダーバードなど公共交通の充実こそ求められています。

